

「震災伝承による復興」

東日本大震災の震災遺構を資源とし、復興に取り組む
気仙沼と陸前高田のその実情とともに大規模な
復興工事を学ぶ。

留意事項
・定員10～20名
・宿泊及びバスの移動は旅行代理店が手配

対象地域:宮城県石巻市、気仙沼市、
岩手県陸前高田市
研修領域:避難行動、震災遺構、土木技術、
復興の町づくり



【研修内容】

- 大規模な津波被害が想定される学校における避難行動と実際に起こった避難の実態を知る。
- 東日本大震災を代表できる伝承館を体験し、津波被害の教訓をあまねく理解する。
- 特殊な機材を用いた大規模な盛土工事を知る。
- 復興で創出された新市街地を体感する。
- 大規模な復興工事の実情を知る。

【学びの特色】

- 東日本大震災における震災遺構から、津波被害の実態と実際の避難行動を学ぶ。
- 東日本大震災を代表する二つの伝承館から、慰霊と鎮魂、被災直後から復旧・復興に向けた様々な団体等の支援活動を理解する。また、大規模なベルトコンベアを導入し、大規模盛土を実施した陸前高田市の状況や東北最大規模の斜張橋を見学し、最新の土木技術を理解する。



石巻市震災遺構 大川小学校



気仙沼湾横断橋



気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館



東日本大震災津波伝承館